

## 知多市ごみ処理基本計画（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 意見募集期間 令和4年12月22日（木）～令和5年1月26日（木）
- 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファックス又は電子メール
- 3 意見の提出者数 7人（20件）

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	はじめに	はじめに	「一人の百歩よりも百人の一步」による取組という名言を生かすために、「おわりに」で具体的な行動指針が表記されたらよりすばらしい計画書になると思われます。	計画本編中で、各主体の期待される役割として行動指針を記載しています。
2	5	第1章4(2)人口、世帯数及び世帯人員	年齢別人口の説明は必要ですか？ 記載するならば説明図表などを添付要か	年齢別人口は、本計画を策定するうえで、本市の基礎データとして必要と考えています。ご意見を踏まえ、年齢別人口のグラフを追加します。
3	14	第2章2(1)表2-2-2 ごみ処理手数料（令和4年度現在）	指定ごみ袋価格の45リットルは45円にするか50リットルに大きくして30リットル、20リットルとコスパを合わせて欲しい。	45リットルの指定ごみ袋の価格を割高にすることで、ごみの減量に取り組み、小さい容量の指定ごみ袋に移行していただくことを促すため、現状の価格を見直す予定はありません。
4	16	第2章3(1)表2-3-2 最終処分場概要	32ページの今後の課題に関連して、次期最終処分場（代替施設）の検討を計画年度内にする必要はありませんか。準備だけは早目にと思われます。	現時点では、次期最終処分場設置の検討をする予定はありません。西知多医療厚生組合が設置する新たなごみ処理施設「西知多クリーンセンター」の稼働後は、焼却灰などの資源化に取り組み、最終処分場への搬入が最小となるよう調整をしています。
5	27～29	第2章7 前計画で掲げた数値目標の進捗状況と課題	内容が細かすぎて頁数を取って、判り難くしている感あり。 例) P27～P29の中での目標達成の見込み欄のみ余計ではないか。（すぐ後のP34の数値目標が有り、変更している）	27ページからの29ページでは、現行のごみ処理基本計画における評価を行っており、現行の計画が令和9年度の最終目標となっているため、目標達成の見込み欄を設け、このまま推移した場合での達成見込みを記載しています。34ページからは、新たな計画で、より厳しい数値目標を設定し、目標達成に向けた施策を実行することで、目標達成を目指すこととしています。
6	34・35	第3章2(2)表3-2-1 数値目標	最終処分量の目標について、52ページで令和6年度以降、西知多クリーンセンターで発生する最終生成物は資源化を原則とするとしているのに、目標数値は必要でしょうか。	ご意見のとおり、令和6年度以降、西知多クリーンセンターから発生する最終生成物は、原則資源化する方針です。 ご意見を踏まえ、最終処分量の目標設定を取り止め、関連する記述を削除します。
7	36	第4章1(1)ア 市民の役割	家庭ごみの収集現場では、カラス対策が難しい。有効なネット設置方法などの優良事例を市が仲介して、HPなどで水平展開してほしい。	カラス対策については、多くの意見や問い合わせをいただいています。確実な対策が難しいのが現状ですが、ごみ収集場所の形状などに合わせ、個別に対応いたしますので、ご相談ください。

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
8	38	第4章2基本方針1施策1 分別の徹底による資源循環の推進	資源回収方法の改善 倉庫を設置し、事前に出することも可能にする。 具体的には、資源回収用物置設置補助金（岡山市など）をもうけ、倉庫を設置し、市民が資源ごみを出しやすくする。なお、独自に倉庫を購入し利用している場合も領収書があれば支援対象にする。	現在、各地区で月1回実施している地域回収では、常設の倉庫を設置する場所の確保が難しいため、現在の方法を継続してまいります。
9	38	第4章2基本方針1施策1 分別の徹底による資源循環の推進	店頭回収については、特に大型店舗では、ビン類、発泡スチロール、トレー以外のプラごみも回収できるよう働きかけてほしい。	店頭回収品目の拡大については、店舗と十分に協議を行う必要があるため、様々な機会を捉えて働きかけを行います。
10	40～43	第4章2基本方針1施策2 ごみ減量の推進	ごみの削減には水分を多く含む、焼却に大きなエネルギーを必要とする生ごみの削減が重要な課題ではないかと思えます。 てまえどりなども確かに大切な心がけではありますが、近年では多くの自治体で生ごみ処理機やコンポスト購入の助成金があったり、武豊町ではコンポストの発酵促進剤を無料配布して生ごみのリサイクルを促進していると聞きます。啓発をするだけでなく、知多市でもそういったものを導入すべきではないでしょうか。 私もコンポストの普及活動をしていきたいと思っています。市でも何らかの後押しがあると非常にありがたいです。	ごみの減量には、水分を多く含む生ごみの削減が大きな課題と考えていますので、生ごみの削減に向けて周知・啓発を行ってまいります。
11	43	第4章2基本方針1施策2 ごみ減量の推進 〔ごみ減量の推進における各主体の取組〕	私もこの計画書面で、はじめて重かつ大なる課題が少し理解できたつもりですが、知人等に話しても関心が薄いと感じられない状態です。 周知徹底により課題克服への一歩としたいものです。	ごみに関することは、生活を営む全ての方に関係するものです。多くの方にごみに関する課題について関心を持っていただき、取り組んでいただけるよう、周知・啓発に努めます。
12	44	第4章2基本方針1施策3 環境教育の推進と効果的な啓発の実施	私も学習したいので、その機会や場所等が具体的に明示されるとありがたいです。	環境教育、各種講座や啓発の実施時には、広報ちた、市ホームページ、各種SNS、スマートフォン向けごみと資源の出し方アプリケーション「さんあ〜る」などを通じて、お知らせします。
13	46・47	第4章2基本方針2 持続可能なごみ処理体制の構築	ごみ処理体制の確立（構築）は物理的なもので、数値目標の達成（P34）には寄与率は少ない。市民が出来るのは、ごみ削減の推進（P40～）であり、啓蒙も含めて重要であり、この部分の実行計画も記載されたい。	より多くの方に取り組んでいただけるごみ処理体制の構築を図るとともに、周知・啓発に努めてまいります。 具体的な実行計画については、別途検討してまいります。
14	46	第4章2基本方針2施策4(3) 先進事例等を参考にした新たなリサイクル方法の調査研究	新しいリサイクル方法を調査研究するだけではなく、実際に導入するつもりはあるのでしょうか。導入するための予算はあるのでしょうか。	新しいリサイクル方法については、民間事業者の取組を注視しながら、連携して調査研究してまいります。なお、リサイクル費用が必要な場合は、予算措置してまいります。

No.	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
15	55	第6章 計画の進捗管理	PDC Aサイクルの実効性を期待したい。市民・事業者がどのように参画するか。実行推進会議なるものの設置と か、具体策を示してほしい。	PDC Aサイクルの手法に基づき、着実に計画を推進してま いります。 市民・事業者の方が参加できる講座などを開催予定で、その 中で、色々なアイデアを取り入れたいと考えています。
16	—	削減委員会の設置につい て	市民参加の削減委員会を作り削減を検討する。 色々なアイデアが出てきて良いと思います。	
17	—	生ごみ処理機購入助成金 制度の導入について	生ごみ処理機購入助成金制度（刈谷市（3万円）など多 数あり）を検討する。	本市では、生ごみ処理機やコンポスト購入に対する補助金を 過去に実施していましたが、堆肥を利用できる方が限定される ことなどから、現在は実施していません。 ごみの減量には、水分を多く含む生ごみの削減が大きな課題 と考えていますので、生ごみの削減に向けて周知・啓発を行っ てまいります。
18	—	全体について	① 第2章ごみ処理の現状と推移 多ページを割いて詳しく説明されていて、よく理解でき た。 ② 第3章目標・第4章施策についても、行政の考え方が よく纏まっていると思う。 ③ 家庭ごみの減量化は「かなり難しいテーマ」と認識し た。中間目標10%減、最終目標で13%減となっている。	家庭系ごみの減量の目標達成に向けた施策を着実に実施して まいります。
19	—	全体について	ゴミ処理問題は地域社会のみならず、国、地球規模の緊 急の課題である。そのためには、よく検討されたロード マップと、より具体的な方策が必要である。その観点から 本計画は、網羅的に全体を通して検討されている。着実な 実行とPDC Aをよくまわして欲しい。また、新クリーン センターの円滑な立ち上げを期待したい。 ただし、ごみ問題は、産業廃棄物以外は、生活者として の市民各自の考え方が大事であり、絶えず啓蒙と参考事例 の水平展開を実施してほしい。	ごみに関する諸問題に取り組むため、計画を着実に実行する とともに、PDC Aサイクルに基づき、適切に評価、見直しを してまいります。 また、西知多クリーンセンターが円滑に供用開始できるよ う、東海市及び西知多医療厚生組合と調整をしていきます。 ごみに関することは、生活を営む全ての方に関係するもの です。多くの方にごみに関する課題について関心を持っていただ き、取り組んでいただけるよう、周知・啓発に努めます。
20	—	全体について	題記のごみ処理基本計画は、市民全員の身近な問題であ り、掛かる費用も多く、課題達成が極めて重要であること が判る資料にまとまっています。	